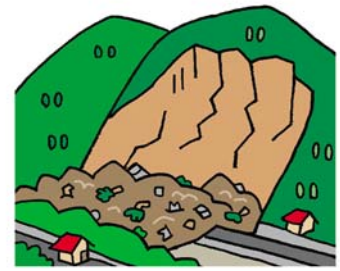


Aコース “内陸山間地の地すべりと建設中のダムを見る”

- ・ 募集人数：44名 ・ 持ち物：ヘルメット、長靴、飲料水、雨具
- ・ 参加費：7,000円（会員）・8,000円（一般）・3,000円（学生）
- ・ 高山駅西口 8:45（集合），9:00（出発）
10:30～11:10 奥田洞谷地すべり
11:20～12:30 古今伝授の里（食事）
13:20～14:00 内ヶ谷ダム
16:00 岐阜駅着（解散）



中生代ジュラ紀の付加帯とされる美濃帯分布地域で令和2年6月の豪雨により、谷頭部で発生した地すべり（奥田洞谷）の現場と内ヶ谷に建設中のダムを見学します。



災害発生当初



今年5月末

奥田洞谷地すべり



内ヶ谷ダム（ダムサイト）

Bコース “内陸直下型地震の怖ろしさと世界遺産を知る”

- ・ 募集人数：42名 ・ 持ち物：飲料水、雨具
- ・ 参加費：7,000円（会員）・8,000円（一般）・3,000円（学生）
- ・ 高山駅西口 8:45（集合），9:00（出発）
10:20～11:00 白川村南部地区文化会館（お話し）
11:10～11:40 御母衣ダムミュージアム
11:50～12:50 料理宿御母衣（食事）
13:10～13:20 帰雲城址
13:35～14:50 白川郷展望台－和田家・村内散策
16:10 高山駅着（解散）



白川村でのお話し後、日本で最初の大型ロックフィルダムとなる御母衣ダムを見学します。このダムで水没した山師の邸宅を移築した“料理宿：御母衣”で食事後、天正13年11月29日（1586年1月18日）深夜の大地震による地すべりにより、一瞬にして城下町が土砂に埋もれた帰雲城址で、天然ダムにより20日間庄川をせき止められた痕跡を探します。その後、世界遺産となった白川郷を展望し、合掌造りの内部を見学し、集落を各自散策して世界遺産の街並みを見学します。



天正地震による崩壊と天然ダム（カシミール3Dにて作図）



城山展望台から望む白川郷

Cコース “流路を変えた火山活動と山岳砂防の最前線を見る”

・ 募集人数: 42名 ・ 持ち物: 長袖、ジャンパー、飲料水、雨具

・ 参加費: 8,000円(会員)・10,000円(一般)・4,000円(学生)

※ ロープウェイ料金込

・ 高山駅西口 8:30(集合), 8:45(出発)※集合時間変更

10:15 新穂高(しらかば平駅)ロープウェイ

10:40~11:45 新穂高口展望(しらかば平駅で昼食 ~12:40)

12:50~13:35 京都大学掃流砂観測施設

13:45~14:30 奥飛騨さぼう塾

16:10 高山駅着(解散)



ロープウェイで標高 2100m までのぼり、山体斜面の荒廃状況を見ながら、古梓川(高原川=神通川)をせき止めた火山活動と古上高地の形成にいたる経緯の説明を受けたあと、掃流砂観測施設を見学します。その後、神通川流域の災害や対策事業の取組を奥飛騨さぼう塾で見聞きます。

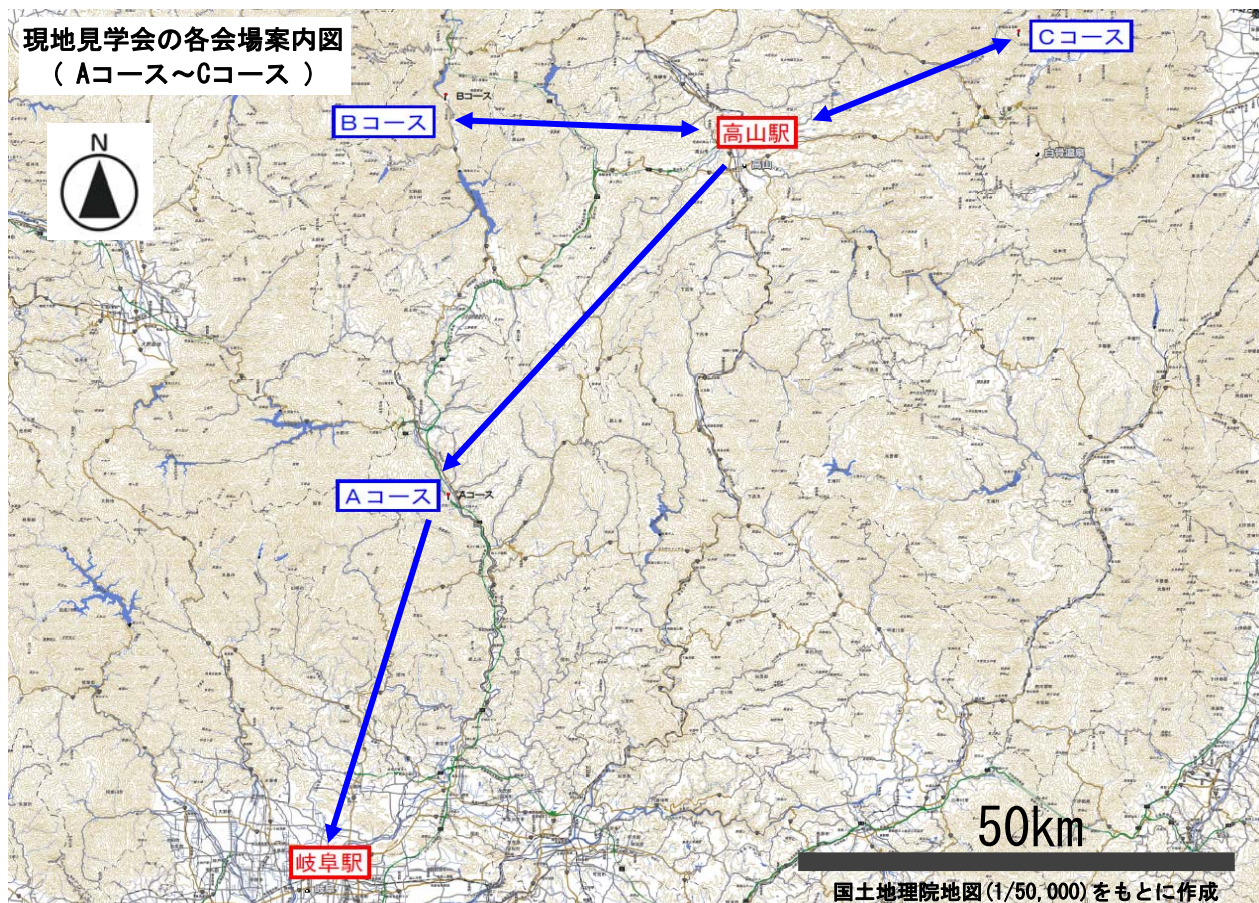


新穂高登山口展望台(新穂高ロープウェイHPより)



奥飛騨さぼう塾(360度ヴァーチャルツアーより)

現地見学会の各会場案内図
(Aコース~Cコース)



国土地理院地図(1/50,000)をもとに作成